

インタビュー

芸歴16年目 全国を沸かす 人気者に

プロ意識でやり切った
酷寒の中のステージ

2月6日に開かれた、冬ま
つりのオーピングセレモニ
ー。テレビでもおなじみのビ
キニパンツ姿でステージに登
場した安村さんは、体をさす
りながら「寒い、寒い」を連
呼。「皆さんは暖かそうでい
いですね」とぼやき、人で埋

観光大使就任式で、西川市長からたすきを
掛けられる安村さん。「今度は夏に呼んで
ください」

安村さんは子供の頃から野
球に打ち込み、旭川実業高校

これからは
もっと北海道で活躍したい

め尽くされた会場の笑いを誘
いました。それでも、ネタの
披露では音楽に乗せて次々と
ポーズを決め、来場者からは
笑い声に混ざって、「頑張れ」
の声援が飛んでいました。
ステージの後、安村さんは
「予想以上に寒く、一時はど
うなることかと思いました。
でも、子供のときによく遊び
に来ていた冬まつりに出るこ
とができ、たくさんの人に温
かく見守ってもらってありが
たかったです。これまでで一
番きつい仕事でしたが、勲章
になると思います」と安堵の
表情を見せていました。

全裸に見えるポーズと「安心し
て下さい、穿いてますよ。」の決
めぜりふで一躍売れっ子芸人とな
った、とにかく明るい安村さん
旭川出身。このたび、旭川観光大
使になりました。冬まつりに登場
した安村さんに、故郷への
思いなどを聞きました。

3年生のときに夏の甲子
園に出場。ピンチの場面に
伝令役となり、仲間を笑わせ
て緊張をほぐしました。卒業
後は、幼なじみとコンビを組
んでお笑いの世界へ。2年前
に解散してピン芸人になった
後、今の芸を生み出して大人
気に。「地元の友達からサイ
ンをたくさん頼まれるようにな
りました。後から、お礼に
ジンギスカンやカニを送って
くれるので、うれしいです」
と、にこやかに話します。

好きなゲソ丼をはじめ、おい
しい食べ物や、高校時代の思
い出が多いスタルヒン球場な
ど、旭川の良いところを全国
にPRしていきます。芸人と
しては、北海道での仕事を増
やすことが目標。服を着た芸
も考えて、旭川で披露したい
ですね」と地元で根付いた活
躍も目指しています。



「冬まつりのステージに自分が立つとは、
しかもこんな格好で」と安村さん



お笑い芸人 やすむら
とにかく明るい安村さん

昭和57年生まれ。本名は安村昇剛。
忠和小学校、忠和中学校、旭川実業高
校の卒業生。「安心して下さい、穿い
てますよ。」が、今年の流行語に選出